

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年 2月 20日

事業所名：ひだまり

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準に応じたスペースを確保しています。4月よりおもちゃ置き場、保護者待機場所を療育室に変更し、概ね倍の広さを確保して療育しています。また、クールダウンの場所として利用することもあります。	はい 94%    どちらともいえない 6%	現状の中で子どもたちにとって良い環境を整えていきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準を満たしています。	はい 90%    どちらともいえない 10%	職員の適切な配置を維持します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子どもたちの特性や活動内容によってパーテーションを活用したり、写真やイラストカードを取り入れ、切り替えや見通しが持てるように視覚的配慮をしています。階段の昇降は必ず職員が付き添います。送迎時のスムーズな誘導のため、2段階のお迎え時間を設け、必要に応じて玄関と北側入り口の2箇所を解放しています。入室時(玄関)の施錠を確実にしていきます。	はい 85%    どちらともいえない 6% わからない9%	今後も特性に応じた設備整備を行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日職員が掃除し、良好な環境保全を行っています。使用した備品、触れる箇所などはその都度消毒を行っています。換気を行っています。(感染予防対策)	はい 100%	適切な生活空間の確保に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングの中で、職員間での意見交換や情報共有を行っています。		業務について、PDCAを活用し、業務改善に努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部の評価は実施していません。法人内で意見交換や評価をし、業務改善を行っていきます。		今回の保護者評価を元に、業務の改善に取り組めます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修や外部研修へ参加し、職員間で共有できるようにしていきます。		今後も勉強会や外部研修会に参加し、資質向上に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	面談内で保護者の方の思いと医療機関での発達検査の結果、子どもの活動の様子、保護者のニーズを検討し、支援内容に反映させます。	はい 94%    どちらともいえない 6%	今後も総合的に検討し、子どもの現在の課題を明らかにして、その対応策を支援計画に反映させます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの発達段階に応じた個別活動と、活動内容や集団でのルールを理解して取り組む集団活動を取り入れた計画を作成しています。		今後も個々に応じた支援計画を作成します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の状況に応じた目標を設定し、具体的な支援内容を記載しています。	はい 100%	今後も個々に応じた支援計画を作成します。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童発達支援計画に沿った支援を実施しています。	はい 100%	今後も適切な支援の実施に努めます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフミーティングで活動プログラムを立案しています。		活動の振り返りを行い、より良い活動を提供できるようにしていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は幼稚園、保育所終了後に利用する場合は子どもの状態に留意しています。長期休暇ならではの活動を取り入れてます。		今後も取り組んでいきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	年齢、クラスによってプログラム内容を変えています。また、季節や行事を意識したり、子どもの成長に合わせて新しい活動を提案しています。	はい 97%    どちらともいえない 3% ・パン作りや製作など、色々な体験ができ、ありがたく思っている。 ・季節をとり入れ楽しい時間を提供してくれている。 ・毎回違ったプログラムを準備してくれている。	子ども達の興味・感心を把握して意欲的に活動できるプログラム考えをていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	始業前にミーティングを行い、支援内容、役割分担を確認しています。又、それぞれの子どもの注意点、ねらいも確認しています。		今後も実施します。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の集団・個別活動の振り返りや、保護者からの要望を職員間で話し、情報を共有しています。		今後も実施します。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援記録として、事業終了後に職員が記入しています。		今後も実施します。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとにモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを図っています。		今後も実施します。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所のサービス担当者会議へ児童発達支援管理者が参加し情報を共有したり話し合いを行っています。	今後実施します。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要な方は利用されていません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要な方は利用されていません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者を通じて情報を共有して、必要があれば支援会議等で情報共有していきます。	今後実施します。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各スタッフがオンライン研修等に参加しています。	今後実施します。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していません。	はい 10% どちらともいえない24% いいえ30% わからない 36% ・交流は特に必要と思わない	保護者の意向も踏まえつつ実施を検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今後要望があれば検討していきたいと思えます。		
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容、利用者負担額については契約時に説明しています。	はい 100%	今後も保護者に理解頂ける丁寧な説明に努めます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を示しながら、出来るだけ具体的に説明させて頂き、その中で出来ている事や気になることについて共有して必要な助言を行い、今後に繋げていきます。	はい 94% どちらともいえない 3% わからない 3%	今後実施します。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在は実施していません。	はい 42% どちらともいえない 21% いいえ 10% わからない 27% ・わたしが受けていないだけかもしれません。	今後検討していきたいと思えます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や電話等で、療育の様子や変化を伝え、自宅や他機関での様子を情報交換しながら、状況や課題を共通理解できるようにしています。	はい 88% どちらともいえない 12% ・毎回とても丁寧に出来た事などを教えてくださり、子どもの成長を感じられて助かっています。 ・お迎え時にその日の様子を詳しく教えて頂いている。 ・親子の様子を見て頂き、声掛けして頂いています。	今後はさらに、療育内容の意図、課題等をよりご理解いただけるような丁寧な説明をしていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から相談を受けた時は、面談の機会を設けたり、保護者の表情、言動等を把握してお声をかけて必要であれば時間を設けて、共有したり助言をおこないます。	はい 94% どちらともいえない 6% ・先生方はお話しやすく、とても相談しやすいので助かっています。	いつでも相談できる関係づくりと適切な助言ができるように努めていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会、保護者会は実施していません。	はい 12% どちらともいえない 33% いいえ 22% わからない 33% ・保護者会は特になく、今のところあまり必要性を感じませんでした。	保護者の声を聴き、検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対しては契約時に重要事項説明書にて説明しています。 児童発達管理責任者が要望、苦情を受けつけています。	はい 64% どちらともいえない 36% ・苦情に接したことがない。	苦情があった時は、真摯に対応します。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもに対しては視覚的配慮等で伝達しています。保護者には面談時だけでなく、送迎時や電話の際に保護者の気持ちに寄り添った意思疎通を心がけています。	はい 97% どちらともいえない 3% ・経験したことがない。	適切な配慮ができるように努めます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月1回、ひだまりだよりの発行で、活動内容をお知らせしています。特別な行事等はその都度、お伝えしています。 ブログで1週間の活動の内容を発信しています。	はい 94% どちらともいえない 3% わからない 3%	より分かり易く伝えられるように検討していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員には秘密保持に関する誓約書を入社時に取り交わし、子どもの個人情報使用に関する同意書を保護者より頂いています。	はい 94% どちらともいえない 3% わからない 3%	今後実施します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを保護者が見やすい玄関に提示しています。	はい 91% どちらともいえない 3% わからない 6%	今後も実施します。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	活動時に防災についての絵本を見たり、防災センターへでかけ、防災に関する映像を見て防災について学び、避難訓練も定期的実施しています。 薬を定期的に服用されている子どもは、薬をお預かりして非常用持ち出し用リュックに保管しています。	はい 94% どちらともいえない 3% わからない 3% 子どもに分かりやすい避難訓練を実施してくれています	繰り返しの中で子ども達が自分で行動できるよう、また職員が色々な状況を想定して的確に動けるように考えていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員間で振り返り意見交換を行っています。		研修会等の積極的な参加に努めます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、該当者はありません。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者にアレルギー調査票を記入して頂き、全職員、共有しております。		今後も実施します。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットが起きた場合は、その日の振り返りを行い対応を検討し、書類を作成しています。		即座に対応して事故が起こらないように努めていきます。